

令和6年度 第2回 浜松市中央卸売市場開設運営協議会  
会 議 録

- 1 開催日時 令和7年3月21日(金)  
午前10時00分から午前11時00分
- 2 開催場所 中央卸売市場 大会議室
- 3 出席状況 鈴木 浩孝、勝地 孝則、松井 英司、川村 雅美、  
(敬称略) 影山 太翼、鈴木 行弘、大村 浩司、渥美 敏、  
池谷 てる代、加藤 弥生  
(出席委員10名/10名)

事務局	農林水産担当部長	清水 克
	中央卸売市場長	水谷 寿樹
	中央卸売市場長補佐	浅井 祐城
	管理グループ長	工藤 智弘
	施設整備グループ長	安達 義光
	業務グループ長	宮崎 泰充
	施設整備グループ	山下 翔平
	施設整備グループ	坂井 宏旭
	施設整備グループ	鈴木 克幸

- 4 傍聴者 0名

5 議事内容

- (1) 令和6年度視察研修の開催報告について  
(2) 再整備事業の進捗状況について  
(3) その他

- 6 会議録作成者 浅井 祐城

- 7 記録の方法 会議録：発言者の要点記録(録音の有無：有)

8 会議記録

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 開会       |            |
| 2 開設者のあいさつ | 清水農林水産担当部長 |
| 3 議題       |            |

(1) 令和6年度視察研修の開催報告について

(浅井市場長補佐)

- ・視察研修の実施概要について説明。

(鈴木会長)

- ・視察研修に参加された方の感想などをお聞きしたい。

(松井副会長)

- ・横浜市場は市街地の工事で大変な苦勞がうかがえた。稼働しながらの建替えは動線の確保が第一であり、事業者の協力が不可欠だ。
- ・卸売場での一部残品の保管状況が懸念された。センサーライト設置などの工夫も必要かと思う。

(影山委員)

- ・現在の本市の再整備計画では、青果棟水産棟がひと続きとなっている現状と異なり、横浜市場のように関連店舗が別棟となっているので、移転しても変わらず買出しに来てもらえるかという観点で見てきた。
- ・関連事業者へのヒアリングの中で、顧客によく周知しながら工事を進めていくことが重要であるというアドバイスが参考になった。
- ・工事進捗中の粉塵等の影響は感じられなかった。

(大村委員)

- ・工事中の入場動線については進捗により都度変わっていくため、特に個人出荷者の方にもよく周知する必要があると感じた。

(支援事業者)

- ・既存の建物を残しながら積込スペースを作るなど工夫がみられた。
- ・工事中の仮設動線や工事後の動線の切り替えがよく検討されて事業者との調整のもと進められており、参考となった。

(松井副会長)

- ・個選品については、市場としても地元の生産品を大切にしたいので、配置場所をしっかりと確保してもらいたい。

(2) 再整備事業の進捗状況について

(支援事業者)

- ・再整備事業の進捗状況について説明。

(鈴木会長)

- ・ご意見があればうかがう。

(影山委員)

- ・余剰地については、現時点で活用したい事業者が見つからないということか。

(水谷市場長)

- ・余剰地については、既存の仲卸が自社整備している施設をできるだけ長く使用できるようにすることや、工事期間中の資材置き場等の用地として活用したいこ

となどから、市場再整備の完成後に確保することとなっており、事業自体は本事業と切り離している。

- ・現時点でも活用アイデアを持っている事業者はいるが、10年以上先の状況が現段階では分からないため、現時点では明確な回答がないという状況。

(3) その他

(宮崎業務グループ長)

- ・浜松市中央卸売市場業務条例の一部改正について説明。
  - ・令和7年度せり見学会について説明。
- いずれも質疑・意見なし。

(浅井市場長補佐)

- ・令和7年度4月1日付け人事異動について報告。
- 人事案件のため質疑意見省略。

4 閉会のあいさつ

- ・各委員任期満了の挨拶し、終了。

9 会議録署名人 なし